

たきおっ子

～一人一人が輝き、「笑顔」あふれる滝尾小～

御船町立滝尾小学校 学校だより
第40号 令和3年2月5日（金）
たきおっ子の生活信条：
「たのしく、きたえて、おおらかに」
学級数7、在籍児童数：55名
文責：（校長）河地浩太郎

参観ありがとうございました ～「命の学習」公開授業



先週の金曜日（1/29）は、ご多用な中に「命の学習（性教育）」の授業を参観いただき、ありがとうございました。人権教育の一環として、自分や他の命を大切にする意識を高めることをねらいに実施しましたが、いかがだったでしょうか。各学年のテーマ（別紙「ほけんだより」参照）に応じて、体の大切さや、命の誕生の神秘さ、あるいは男女の協力や性の多様性など、子どもたちの発達段階に応じた内容を指導しました。この学習を通じて、命は大切なものであると感じ、そしてそれを行動につながる力を身に付けてくれたらと思います。ご家庭では、このようなことについて話をされる機会は少ないと思いますが、ぜひ学習したことについて話を聞いていただき、子どもたちの認識を深めていただけたらと思います。

いきいき大作戦（学習編）実施状況

毎月、第3週は「滝尾っ子いきいき大作戦（学習編）」として、家庭学習充実週間を設定しています。5月から取り組んできましたが、各月の目標達成者率の変化は、下のようになっています。取組当初からすると、数値的にはだいぶ向上してきました。また、学習カードを見てみると、宿題の他に、読書や自主学習も計画的にしている子が増えてきました。ただ、中には、あと5分がんばると、あるいは、あと2～3日がんばると目標が達成できるのにといい子もいます。数値は、あくまでも目安ですが、子どもたちに達成感や充実感を味わわせるためにも、もうひと頑張りさせたいところです。ご家庭でも、カードのチェック等大変ではありますが、ご協力をよろしくお願いします。

【5月～1月までの目標達成者率の推移】

5月(48.1%) 6月(63.6) 7月(66.7) 9月(63.0) 10月(72.2) 11月(76.5) 12月(72.5) 1月(75.5)

（1月の取組結果） 目標達成者率 75.5% パーフェクト30人 カード提出率96.4%

※2年生は、9月から1月まで5カ月間、目標達成者率100%です。よく頑張っています。

なわとび大会を開催



本日、給食・体育委員会が中心になって、実施しました。この日のために、体育の時間や休み時間、長縄や短縄の練習に励んできました。体幹を鍛えるのに有効だといわれる縄跳びです。今後ぜひ続けてほしい運動です。

暦の上ではもう春（立春）

毎日寒い日が続き、冬真っ只中という感じですが、暦の上では、もう春です。給食室の裏の梅も咲いています。春は確実に近づいています。



熊本県文集「夢」入選者

熊本県小学校教育研究会国語部会が毎年取り組んでいます文集「夢」に、下記の12名の児童が入選しました。おめでとうございます。特に、本文が掲載された4名の人の作品は、どれも作者の思いがよく伝わるすばらしいものでした。今後も、「書く」楽しさを味わってほしいです。

【優秀賞】本文を掲載

- 4年 桑原奏音さん 「運動会での発見」★裏面掲載
- 5年 福島美織さん 「運動会を通して成長したこと」
- 6年 作田唯海さん 「しよるの夢」
- 6年 中村公亮さん 「骨折して学んだこと」

【奨励賞】名前を掲載

- 1年 上田萌結さん 「あたいへん」
- 1年 甲斐椋仁さん 「ちゅうしゃ」
- 2年 七村知輝さん 「ねこじゃらし」
- 3年 溜 結菜さん 「自由研究ががんばったよ」
- 3年 井上奈々さん 「家族を笑顔にすること」
- 4年 轟田夢依さん 「一輪車やってみたよ」
- 5年 井上佳音さん 「運動会でがんばったこと」
- 6年 藤田もえさん 「下校中のこと」



運動会での発見

上益城郡 滝尾小学校 くわはら かのん

十月十一日に、運動会がありました。

たきお小では、運動会の係の仕事が四年生から始まります。運動会は、四回目ですが、係の仕事をするのは初めてで、とてもきんちょうしました。そして、今まで気づいていなかったことに気づけた運動会になりました。

まず、気づいたことは、運動会のじゅんぴが大変なことです。きょ年まで、運動会のじゅんぴにはさんかせず、午前中で帰っていました。今年は、六時間目まで、運動会のじゅんぴにさんかしました。初めは、

「とてもめんどくさいなあ。」

という気持ちでした。重いテントやイスを運ぶのがとても大変で、つかれました。トイレそうじは、

「きたないから、やりたくない。」

と書いていました。

でも、じゅんぴが終わった後、

「みんなに、楽しく運動会をしてもらいたいなあ。」

という気持ちに変わってきました。これまでは、こんな大変な思いをして会場をつくっていたなんて知りませんでした。上級生やうちの人たちにささえられて、運動会ができていたことに気づきました。

次に気づいたことは、自分で行動しなければならないことです。わたしの係は、決勝係でした。決勝係は、四人で、ゴールテープを引っぱったり、等旗にならべたりする仕事をしました。初めてのことで、何をどうすればいいか分からなかったけど、六年生がやり方を教えてくれました。たとえば、ゴールテープは、

「こうした方が持ちやすいよ。」

と、持ち方を教えてくれました。わたしは、

「六年生は、さすがだな。」

と思いました。きょうぎ中も、六年生は一生けん命走っていて、とても感動しました。

わたしは、来年は、五年生になり、応援団にもなります。今の上級生のように、たよりにしてもらえないようには切り切っ

てがんばりたいです。

♪ 読んでいくと、かのんさんの気持ちの変化がよく分かる作品です。

運動会の係の仕事という初めての体験をしながら、感じたことや気づいたことを「めんどくさいなあ」「六年生は、さすがだな。」などすなおに言葉で表現しているのも好感がもてます。

(河) 来年は、五年生になる奏音さん。上級生として
滝尾小をしっかり引っぱってほしいです。

